

令和7年5月13日

令和7年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎

専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21

学 校 関 係 者 評 価 委 員 会

1. 令和7年度 学校関係者評価委員会

<評価委員> (五十音順)

富永 高広氏 株式会社日本旅行 東京教育営業部 部長

林 哲治氏 立志舎高等学校 教頭

平澤 精一氏 有限会社井荻スポーツ社 代表取締役

藤代 真弘氏 東海旅客鉄道株式会社 新幹線鉄道事業本部 東京第二運輸所 指導車掌

丸茂 茜氏 ヒロセ電機株式会社 製作本部長室

<事務局>

吉野 充利 専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21 校長

桐原 彰久 専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21 教務部課長

山田 絵美 専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	イ. 教育理念、目的、育成人材像について定められているか 学校の目標は、「学校教育法に基づき人格の陶冶と、ビジネス、鉄道、トラベル、ホテル、スポーツ、医療・福祉および一般教養に関する正しい知識を身につけ日本経済の発展に貢献できる人材の育成を目的とする」としている。また、学園の基本目標を『学生から信頼され支持される学校づくり』として、教職員一丸となって取り組んでいる。 ロ. 学校における職業教育の特色は何か 教育の特色は、本学独自の教育システムの「ゼミ学習」である。この学習システムにより合格実績、就職実績、人格陶冶を達成している。 ハ. 教育理念、目的、育成人材、特色が学生や保護者などに周知されているか 入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明しており、学生・保護者等に周知しているが完全とは言えないため今後も継続して周知していく。 二. 各学科の教育目標、育成人材像は業界ニーズに向けられているか

	育成人材像が業界のニーズに向けて方向づけられるように、毎年開催する学内就職セミナーや教育課程編成委員会を通して業界のニーズを把握し、ゼミ学習を通じて日々学生を指導している。 基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 (1) 親が学校にはなかなか行けないのでその都度催しなどのお知らせを頂けると安心して通わせることができると思う。また、昨年の意見を活用していただけている環境は素晴らしい。 (2) 本科卒として経験した立場として、「ゼミ学習」の経験が今の職場で活かされている。ゼミ学習ではいろいろな人と話す機会があったので自分の考えを伝えること、相手の考えを聞くことというのを同時にできたので、コミュニケーション力を身に着けることができた。お客様への対応についても複数の答えがあるため社内で会議にて検討する際にも活かされていると感じている。
基準2 学校運営	イ. 目的に沿った運営方針が策定されているか 各学科の目的等を達成するために「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標とし全教職員に周知徹底している。各部署には目標達成のために数値目標が明確にされており、その目標達成のために授業を組織的に運営している。 ロ. 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化され機能しているか 運営組織や意思決定機能は規則等において明確にしており、理事会、評議員会、校長会、部次長会議、責任者会議、課会議といった意思決定プロセスが制度化されその権限を明確にしており、意思決定システムは確立されている。 ハ. 人事制度や組織整備がなされているか 人事や賃金の処遇に関する制度として、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度を整備している。 二. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか 日常的な意思決定は管理職が行っている。学校間の調整は運営本部または部次長会議で決定している。また、責任者会議、課会議といった意思決定システムが整備され、その役割と権限を明確にしている。 ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか ホームページで資格取得実績や就職実績、学校概要、卒業認定方針、自己評価表、学校関係者評価委員会報告書、高等教育無償化公表資料、職業実践専門課程基本情報、シラバス、実務教員の授業科目、財務情報、理事一覧、成績評価基準を公開している。 ヘ. 情報システム化などによる業務の効率化が図られているか ① 学生管理は立志舎専用の学務システムを構築している。セキュリティに関し

	ては仮想プライベートネットワーク (VPN 網) を利用しているため教務室のネットワークでしかログインできない。各職員にはログイン ID・パスワード、IP アドレスが与えられており不審なログインをシステム管理者が監視している。 ②全教職員にノートパソコンを貸与して、対学生、教職員間のコミュニケーションは Office365 (Microsoft365) を利用している。 ③学生に対する就職支援は「就職支援ポータルサイト」を利用してリアルタイムの情報提供やエントリーの一元管理を行っている 基準 2 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 (1) ここ数年、コロナ禍を経て様々な情報の取扱いについてシビアになってきた。管理者のみ限定で見られるシステムもあるが、管理者じゃない人が管理する個人情報もある。管理者以外の人管理するときに権限がなくても管理できるようリストを作るようにしている。学校の場合、特に学生に関する情報、企業に関する情報など取扱いに注意をしなければならない情報が多くなるので今後も取り扱いには注意をしていただきたい。 (2) データ送信を行う場合、無料のものは使ってはいけないことになっている。また個人情報の研修を全社員が毎年受けている。アレルギーなどの個人情報のやりとりが多いので慎重に扱うようにしている。セキュリティに関する研修などを実施しても良いのではないかな。
基準3 教育活動	イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか 教育理念等に沿った、各学科の目的を達成するために、カリキュラムは、年 2 回実施される教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。実際に委員会の意見を活用して新しいカリキュラムに取り入れた事例が多くある。 ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 各学科の目標を明確にし、講義だけではなくゼミ学習で各学生の理解度を深め、答案練習会や確認テストにより理解度を把握している。各学科 2 年間の規定時間である 1720 時間を超える授業時間を確保している。 ハ. 学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか 学科等のカリキュラムは教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するように編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする資格取得のために定期的に見直しを行っている。 二. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

	専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するため、該当する授業科目を設置し、企業の人事担当者による学内就職セミナーおよび官公庁説明会も実施している。 ホ. 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか スポーツ、鉄道・トラベル、ビジネスともに毎年定期的に校外実習やインターンシップなどを取り入れ学生の技術能力の向上のために計画的に行っている。 ハ. 授業評価の実施・評価体制はあるか 授業運営の適否を判断、見直しをするために学生による授業評価アンケートを実施している。 ト. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 成績評価・単位認定の基準を明確に定め、学則、専門課程便覧、HP で学生にも周知徹底し、厳正に行っている。GPA も算出し学生の成績をより明確に把握している。 チ. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか 各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験終了後カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。各学科で各科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成においても目標達成のため科目の適正な配置を行っている。 リ. 人材育成目標に向け、授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか 育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。 ヌ. 教員の能力開発のための研修などが行われているか 各学科とも専攻分野の研修と指導力向上のための研修があり、指導力向上に関しては全学科統一で人権研修としてハラスメント防止に関する研修を毎年実施し、専攻分野のスキルアップは各学科で身につけた方が良いスキルを設定して毎年行っている。鉄道分野では運転シミュレータに関する研修を行い、スポーツ分野では実際にクライアントを持ちトレーナーとして活躍している方を講師として招いて現場で使っているトレーニング方法を学んだ。 基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 (1) 社会に役立つ人材の育成として、学内だけでやっていると社会から取り残されてしまうため企業と連携することが非常に重要だと思う。高校としても専門
--	--

	学校で企業と連携して実践的な教育を受けられることは保護者に安心して勧められる。このまま継続し、更に連携企業を増やしていただきたい。 (2) 当社では営業利益を上げるための一般社員向けに営業研修、若手向けには接客のための営業基礎研修、管理職向けにはマネジメント研修やハラスメント研修などニーズに合わせて選べる形になっている。1年目、3年目、5年目まではカリキュラムが組まれ、新任管理職は勤怠やハラスメントの研修、長年管理職をされている方は任意で様々な研修から選べるようになっている。役職や勤務年数に応じた研修を導入しても良いかと思う。
基準4 学修成果	イ. 就職率の向上が図られているか 各学科より就職実績の報告にあるように、就職率の向上が図られている。 錦糸町校、杉並校とも就職率は100%であった。 ロ. 資格取得率の向上が図られているか 各学科より資格取得実績の報告にあるように、資格取得率の向上が図られている。各学科より具体的な実績を説明した。 ハ. 退学率の低減が図られているか 退学率の低減については、一人も退学者を出すことなく入学者全員を卒業させることが最終目標であるため、担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っており、欠席した学生には担任が電話することで長期の欠席にならないようにしている。前年度よりは退学者数は減ったがゼロではないのでこの評価とした。その対策として学生からのひとこと本音(一言アンケート)を毎日付けることによって学生との会話を確認し、学生の様子を早く確認することに努めている。 基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 (1) 鉄道・トラベル学科 検定実績・就職実績が高く素晴らしい。ゼミ学習の成果だと思う。また先生方の親切・丁寧な指導の賜物だと感じる。引き続き継続してほしい。 (2) スポーツ学科 先生方の日々の努力がすばらしいと感じた。学生に意識を高く持たせることの大変さ、机上で勉強しているだけでなく現場でモチベーションを上げることの大変さが伝わった。今後も楽しみにしている。 (3) ビジネス学科 最後の年でJR東海に就職できたり他にも多くのところに就職できたりしているということは、学生の頑張りや当然だが、先生方のサポートがしっかりしているからだと思われる。本当に素晴らしい。
基準5 学生支援	イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか

	就職希望者には、就職相談室を設け、就職担当者およびクラス担任が学生の就職相談、指導を行っている。令和4年度からOffice365のシェアポイントアプリを利用して「民間就職支援ポータルサイト」を立ち上げた。学生は求人票をリアルタイムでいつでもスマホやPCで閲覧でき、エントリーもスマホから行い、就職部と学生の連絡もこのサイトから行えるようになった。 学生が自分でエントリーした場合には担任に自動でメールで連絡がされ、学生も担任も連絡の行き違いがなくなり、スムーズな就職活動ができるようになった。 ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか 学生の相談はまずクラス担任にするが、その他にも学生相談室を設置し相談できる体制をとっている。 新たにスクールカウンセラーに相談できるアザレアハートルームを開設 ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか 支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度、スポーツ実技特待生制度を設けており、奨学金はすべて貸与ではなく給付としている。また令和元年にスタートした高等教育の修学支援新制度対象校として文部科学省より認定された。 二. 学生の健康を担う管理体制はあるか 学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。 ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか 課外活動として野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部などのクラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などを学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。それぞれの部活の大会でも高い実績を上げた。 ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか 遠隔地出身者のために提携している学生寮を紹介し、安心して学生生活を送れるよう支援をしている。 ト. 保護者と適切に連携しているか 保護者には、学生に対して適切な指導、相談を行うために出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回送付している。また、必要に応じて保護者への電話連絡や面談をしている。 チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか 一部の高校と高専連携を結んでいる。また様々な高校と無料での高校生の民間就職支援、鉄道セミナー等を通じ、資格取得、就職内定を目指す生徒を応援しているが、今後もさらに連携していく必要があると思う。
--	--

	基準 5 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 (1) スクールカウンセラーを導入されたということだが、学生目線にたった素晴らしい導入だと思う。 高校生はまだ未熟で担任の先生へ相談はしにくいこともある。本学ではスクールカウンセラーを導入後して 5 年が経つ。毎回予約でいっぱいになっている。専門学校進学後は悩みも変わってくるとは思うが安心できる学校として選んでもらえると思う。高校では保護者がスクールカウンセラーへ相談するというケースも出てきている。継続してほしい。 (2) 学生の経済的側面に対する支援体制が整備されている点は保護者の立場としてありがたい。他校の推薦などでは入学後に競技を継続してケガなどで続けられず退学に繋がるケースもあると思うが、高校での頑張りを評価するというのは良いと思う。
基準6 教育環境	イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っているため、施設・設備は学生に教育上支障がないように整備されている。しかし、施設についてはどこまで整備してもさらに上を目指すという意味でこの評価にした。 ロ. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか 実習施設についてはトレーニングルームをはじめとした各学科独自の実習室や墨田区総合体育館等の施設を確保している。海外研修等についてスポーツはグアムスポーツ研修を昨年度に続き国内に変更して実施した。海外添乗実習は為替レートや物価高により中止となったが卒業旅行は実施した。また、インターンシップについても各学科独自に企業との連携を構築し、学科の特徴にあった実習を例年行っている。 ハ. 防災に対する体制は整備されているか 防災に対する体制は、防災指導担当者を定め防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。 基準 6 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 (1) 高校の修学旅行は生徒にとって一番の思い出になる。2 年次の 10 月に実施。場所より中身に比重が置かれている。沖縄とベトナムの 2 か所からの選択制で生徒が選ぶ。希望者人数の関係で全員沖縄になった。本来でしたら海外の文化など経験して視野を広げてもらいたかったが実現できなかった。保護者にとっても海外は高額になるため保護者の負担を考慮することも重要。本校の場合、1 年次から月 1 ～ 2 万円前後を任意で積み立てをしている。今後も継続をし

	てほしい。
基準7 学生の受け入れ募集	イ. 学生募集活動は適正に行われているか 本学で希望者の多い A0 入試についてはアドミッションポリシーを定め、単願ではなく併願で実施している。 オープンキャンパスや個別説明会を対面およびオンライン、午前・午後と1日2回開催するなど様々なニーズに対応できる体制を構築した。 新しい取り組みとして SUKI-1 グランプリがスタートした。 ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 募集活動において、教育成果を正確に伝えるために本学では資格取得実績・就職実績は、本人の了承を得て、合格試験名、企業名、氏名（イニシャル表記）、出身校名を明示することにより志望者、保護者から信用の得られる内容となっているため、志望者や保護者の方の判断にも役立つと思われる。 ホームページをリニューアルしてより学校情報を伝わりやすくした。 学生の授業やイベントの様子はツイッター、インスタグラムを利用して高校生に伝えている。 ハ. 学納金は妥当なものとなっているか 学納金は学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。 基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 (1) SUKI-1 グランプリの開催について 入学してくる生徒たちはやりたいことが明確ではなく漠然としている生徒も多い。オープンキャンパスやCMなどをきっかけに SUKI-1 を知って興味を持ったり、不登校の生徒の気持ちの切り替えのきっかけに繋がる。社会貢献という教育的な面も大きいのではないかなと思う。引き続き継続してほしい。 (2) 様々な情報提供という観点からはホームページがとても見やすいし、目を引くものが多い。知りたい情報が探しやすかった。インスタでは運転士用のシミュレータをやっている点が見られるのも面白かった。引き続き発信してほしい。
基準8 財務	イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか 財務全般については、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定さ

	せていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められている。予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。以上の点から財務については適切に運用及び管理されている。 基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。
基準9 法令等の 遵守	イ. 法令、専修学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか 各種法令遵守に関する研修への参加や資料配布、および毎年の人権研修を実施している。法令遵守規程があり、法令遵守推進管理者をおいて法令遵守の推進を図っている。 ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか 個人情報保護の取り扱いは個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定しており、学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる場合には、個人情報保護に関する文書の提出を義務付けている。また、各種学業成果を公表する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し本人の承諾を得ている。 ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか 自己点検・自己評価委員会を設置し、自己点検・自己評価を行っており、今後も自己評価を実施して問題点を分析し、より良い改善をしていく。 二. 自己評価結果を公開しているか 結果についてはホームページに公開している。 基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 本校でも自己評価を実施しこれをホームページに公開している。公開することで第三者の目がある点は抑止力になり、進学先として安心できる。
基準 10 社会貢献・ 地域貢献	イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ロ. 学生ボランティア活動を奨励、支援しているか ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか 社会貢献・地域貢献全般については学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の道路清掃をしており、その清掃活動は近隣からもとても好評である。また、例年地域のイベントへの参加等、その地域の社会貢

	献・地域貢献を行っている。 社会貢献・地域貢献の内容として「第2回運転シミュレータ選手権大会」「鉄道イベント」と「2024 高校生フィットネスボディコンテスト」の紹介をした。 特に今年度は湾岸警察署主催の「交通安全パレード」、JR 錦糸町駅主催の開業 130 周年イベント、錦糸町丸井主催のすみだ鉄道まつりにも参加した。 基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 (1) 当社でも今年 2 月に職場見学会を開催した。社員の家族が対象でたくさんのお子さんが来た。やはりシミュレータが大人気だった。こういった施設の開放やイベントは学生にとって貴重な経験になったと思う。継続してほしい。 (2) SUKI-1 の大会では高校生でも意識が高くレベルが高いと感じた。これからたくさん周知されていくと思う。私たちも周知する仕事が多いが、地方の新聞社やメディアさんへアピールし、その記事を持って高校さんへアピールするのが良いと思う。高校生は全然テレビを見ないらしく一番有効なのは SNS だと思う。高校生には TickTock の広報は効果的で良いのではないかな。
--	---

〔総括的な意見〕

評価項目の評価についてはすべて妥当です。コロナ前に完全に戻ってはいませんが、様々な工夫をすることで学校行事、課外活動を実施しています。学修成果ではどの学科も学生の期待に応える実績を達成していると高く評価できます。先生方の尽力が随所に成果として出ていると感じました。

今回で第 13 回目の学校関係者評価委員会になりますが、学校側の前年度より良くしようという姿勢、特に我々の意見を真摯に受け止め、次年度に取り入れているところは素晴らしいと思います。そういった姿勢が立志舎の強みであると思います。特に社会貢献・地域貢献においては地域社会とともに発展しようという意味合いと学生に様々なイベントの参加（体験）を通じて、人間関係の形成を促進させることを実践されている点は専門学校が目指すキャリア教育に必要であると感じました。

また情報公開については財務情報やプライバシーポリシーの詳細も確認でき適切に行われています。

学校の授業の雰囲気や様々な行事、課外活動の様子も Instagram で積極的に開示されており入学希望者の判断材料になる情報が提供されています。今後も学生のニーズに応える学校運営と社会に役立つ人材育成に励んでほしいです。今回の学校関係者評価は昨年以上に各学科の特徴や実績を中心とした報告があり、今まで以上に貴校の実績の高さを知ることができました。